

世帯数	638	世帯	
町民数	1,647	名	
男	798	名	
女	849	名	
(令和2年8月1日現在)			
発行	島町公民館長 中川 勝志		
編集	文化広報部長 野口 和久		

町内自主防災会より

**今年の秋祭り
(九月十二日十三日)は
八幡神社での式典
のみの開催となります**

今年はお祭りの準備がすすんでいますが、この状況をみんなで乗り越えて、町民がまた笑顔で集まれる日を楽しみに過ごしましょう。

- 【旗竿起こし】 原則中止
- 【神社内式典】 実施
- 【模擬店】 原則中止
- 【輪踊り】 原則中止
- 【巫女舞い】 原則中止
- 【子ども神輿】 原則中止
- 【獅子舞】 原則中止
- 【初老御祝い】 原則中止
- 【しめ縄】 原則中止
- 【公民館】 催しなどはなし

先月8月にお配りしました「第一回 島町防災アンケート」にご協力ありがとうございました。回収率7割以上)もの回答が集まりました。皆さんにもお暑い中、回収にお力添えをいただきまして御礼申し上げます。

ご存じのように昨今、集中豪雨や台風などの大型災害は日本各所で発生しております。

もし今、島町で災害が発生した場合には、避難所を開設し町民を誘導するにあたり、コロナ感染症のより万全な対策も求められます。そこで、町内の皆さんの防災に対する意識と、避難所の依存度の把握が急務となっております。

裏面に、アンケート集計の「速報」を記載しました。今後も、年齢別や性別など色々な角度から詳細な集計しながら、皆さんと共に島町の有効な避難方法や集会所などを考察します。結果は十月号にて掲載いたします。



防災アンケートにご協力ありがとうございました♪



島町ホームページ
「マイタウン島町」
QRコードを
読み込んで
今すぐアクセス!

ご家庭の防災無線受信機
(スピーカー)は
定期的な電池交換が必要です

小松市では災害時の緊急連絡や行政放送、また町内会など地域コミュニティでの情報共有のために、市内全域を対象に「防災行政無線放送施設」を整備しております。

新築などで未設置のご家庭、事業所などでもご利用希望の方、また二世帯住宅の場合はもう一台貸与も可能です。町内会までお問合せください。

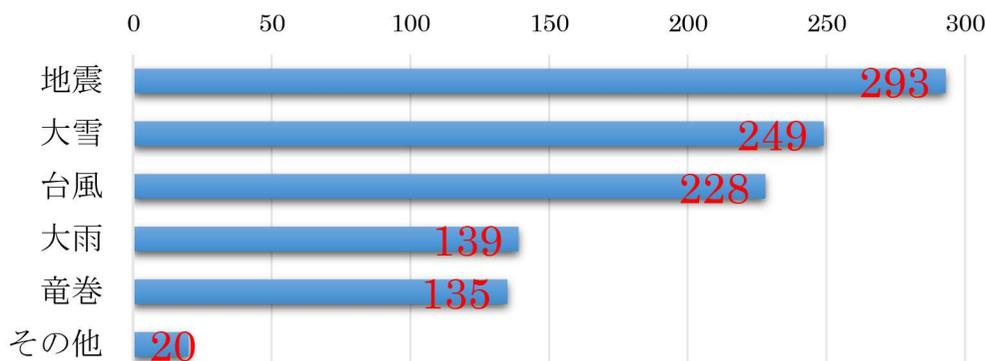
※注意※
戸別受信機の乾電池(単二電池×2本)は、災害などで停電になったときなど方が一に備え、一年に一回は新しい乾電池に交換することをお勧めします。(乾電池切れの際は交換の電子音声が流れます。)



三角マーク▼を
押しながら
下方向に引くと
ふたが外れます。

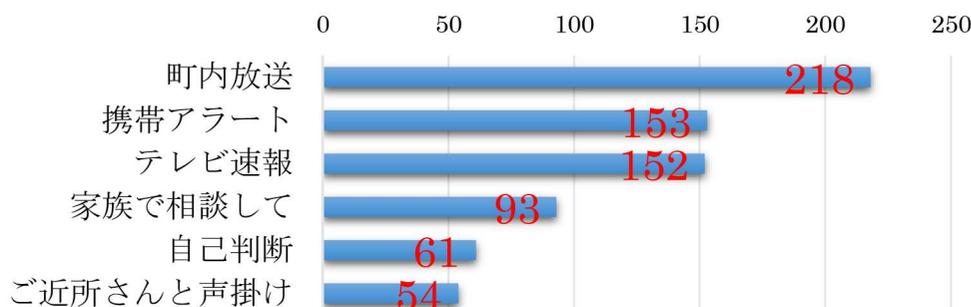
第1回 防災アンケート集計速報 (352枚:回収率約75%)

【問1】町内で心配されている災害は？(複数回答あり)



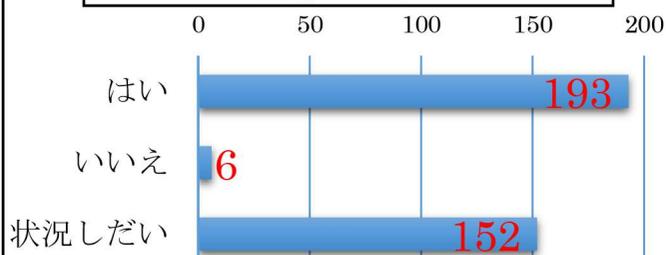
心配な災害の第1位は、地震で293名(83%)でした。次いで記憶に新しい大雪、僅差で台風となりました。大雨・竜巻にも約40%の方が心配と答え、全般的に災害を心配されている方が多い傾向が見られます。

【問2】避難開始のきっかけは？(複数回答あり)



避難が必要となった際の避難開始は、第1位は町内放送で218名(62%)でした。次いで携帯アラート、僅差でテレビ速報(43%)となりました。町内放送は、平常時も非常時も大切な情報源となっています。

【問3】指定避難所(南部中学校)に避難しますか？



南部中学校には193名(55%)が、向かうとの回答でした。その状況にならないとわからないと回答した方は152名(43%)となり、避難の際、町内で統率が取れない懸念が浮き彫りになりました。

町内で心配だと思う災害すべてに(○)をつけてください

()地震 ()台風 ()大雨
()大雪 ()竜巻 ()その他[]

【令和2年度 防災士資格 受講者を募集しております】

本年度も小松市より、防災士の資格取得の研修の参加者の推薦依頼がきております。男性女性問わず、積極的に受講の申込をお願いいたします。

【開催日】2021年1月16・17日

【申込〆切】2020年9月11日

【費用】自己負担なし(市・県が負担)

【想像してみてください】…仮にあなたの家が豪雨や突風で災害にあり、このままでは停電や断水で家の中で孤立してしまい、自宅からの避難をよぎなくされたとします。

【問2】避難行動の開始のきっかけは、何で判断をしようと思いますか？

()テレビ速報 ()町内放送 ()携帯アラート
()自己判断 ()家族で相談して ()ご近所さんとの声掛けで

【問3】自宅から避難の際、指定避難所(南部中学校)へ向かいますか？

()はい
()いいえ
()その状況にならないとわかりません

